

Point

農林水産省は去る7月21日、平成19年度からスタートする新たなさとうきびの支援方策（経営所得安定対策）について対策の実施に必要な支援単価や予算措置等を定めた「経営所得安定対策等実施要綱」を決定しました。

さとうきびの支援方策について

生産農家への支援

平成19年産分みつ糖原料用さとうきびに対する経営所得安定対策による農家への支援は、直接交付される交付金単価を1トン当たり16,320円とするとともに同単価を3年間固定することとしています。

またさとうきびの交付金単価は、糖度13.1度以上14.3度未満の現行基準糖度帯が維持されることとなり、13.1度未満は0.1度下回るごとに100円/トンが差し引かれ、14.3度以上を0.1度上回るごとに100円/トンが加算されることとなります。

新たな制度における農家の手取額は、直接交付される交付金と製糖工場から支払われる取引価格の二つを合わせたものとなります。このうち取引価格は来年度に決定されることから現時点では手取り

の総額は確定できませんが、最近の糖価の動向を踏まえると現行手取額は確保される見込みとなっています。

交付金の支払いについては、交付申請後10日以内に（独）農畜産業振興機構から早期に支払われることとなっています。

製造事業者への支援

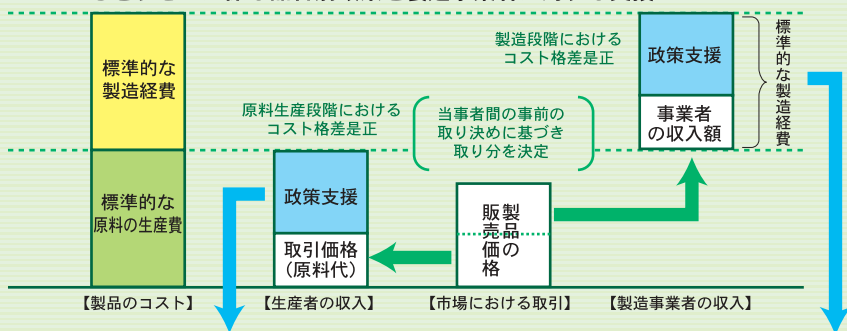
国内の砂糖製造事業者（製糖工場）の経営安定を図るための支援は、平成19年産からは、次式によって得られた額が交付の対象となり、交付金単価は64,052円/トンとなっています。

交付金単価 =
国内産糖の標準的な製造経費 -
(国内産製品の販売価格 - 標準的な原料代)

農家手取額 =
交付金単価 + 取引価格
(16,320円/トン) (次年度決定)

19年度以降のさとうきびの経営安定対策の支援水準等について

さとうきびに係る品目別政策と製造事業者に対する支援



さとうきびの生産者に対する支援水準

19年産の交付金単価

さとうきび 16,320円/トン

注1) さとうきびの単価は、糖度13.1度以上14.3度以下のものの単価であり、糖度が13.1度に満たないものの単価は糖度が0.1度下回るごとに100円/トンを差し引いた額、14.3度を超過ものの単価は糖度0.1度上回るごとに100円/トンを加えた額とする。なお、糖度格差については、今後、品質向上のインセンティブがより働く方向で見直すことを検討するものとする。

注2) 交付金単価は、当面3ヶ年間固定するものとする。

製造事業者に対する支援水準

1. 19年産国内産糖（甘しや糖）の標準的な製造経費

標準的な製造経費 86,382円/トン
(実質的な収入水準に相当)
交付金単価 64,052円/トン

注1) 交付金単価は、標準的な製造経費から、18年7月時点での製造事業者の収入額（＝国内産製品の販売価格－標準的な原料代）を差し引いて算定した試算値である。
注2) 標準的な製造経費は、20～21年度においては、19年度の製造経費に過去の合理化状況に基づき算定した合理化係数を経過年数に応じて乗じるにより算定。
注3) 甘しや糖の国内産糖交付金単価は、鳥ごとの製造事情の違いを踏まえて措置する。

2. 18年産国内産糖交付金単価

現行算定ルールに基づき決定

